

お客様探訪



エニーシステム株式会社 代表取締役 秋野 欣正 さま

エニーシステム株式会社さまは、主力製品であるコンテンツ配信システム『MultiKIS』や介護支援システムを展開し、お客様のニーズに応えるIT企業です。2014年4月に西川口で起業したベンチャー企業。代表の秋野社長は大手ソリューションサービス企業出身で老人ホームや病院の介護支援システムの開発管理を行っていましたが、55歳の時に起業し現在4名体制となっています。

「エニーシステム」。社名の由来は、オールマイティにシステムを制作するという事業そのものと。社長の名前 Akiyama Yoshiyuki からというのはここだけの話。

『知恵 創意 工夫』

秋野社長の口癖であり、企業理念。お客様のニーズに応えるには、蓄積したノウハウを活かし、アイデアを投入することによりお客様は喜んでいただける。

製品にもその理念は詰め込まれています。自社ブランドは6つ。その中でも主力製品である『MultiKIS』は新発想のデジタルサイネージ（電子看板）用のコンテンツシステム。動画や静止画、PDF、YouTube、ホームページなど簡単に配信が可能な優れたものです。様々なニーズやシー



企業データ

エニーシステム株式会社

埼玉県川口市西川口1-26-4 1F

ホームページ <http://anysystem.co.jp/>

ンに応え、緊急時の災害情報発信や多言語にも対応し、中小企業庁「ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金」にも採択された実績をもっています。

『MultiKIS - Pulseheart IoTデジタル脈拍計』

2019年には、病院の先生方より「脈拍測定の仕組みを作ったので商品化したい」との要望から製品化。そこに『MultiKIS』の技術を融合し、測定中に広告を表示させるといった利用者にも退屈させない「IoTデジタル脈拍計」となっています。ちなみに当社営業担当者の磯田は、実年齢30歳に対し、血管年齢36歳。自身のリスクマネジメントを実感していました。今後、5代目となる製品では個人個人のパソコンに繋げて使用できる製品をリリース予定。ますますおもしろくなりそうです。



秋野社長にこれからのエニーシステムさまを聞きました。

「自社ブランドを育てていきたい」

すでに『MultiKIS』を主力とした自社ブランドには知名度も実績も備わってきています。特許取得も完了し、販売代理店と協力しより多くの方々に自社製品を見て、触れていただけるよう育てていきたい、とのことでした。

エニーシステムさまの『MultiKIS』には、当社リスクマネジメントを通じて保険を付帯しております。お客様が安心してお使いいただけるというのも製品普及の大事なポイントと考えています。

秋野社長ありがとうございました。これからの企業、製品の発展が楽しみです。